槌音

桶川市立桶川中学校
学校だより　第３号
令和７年６月３日発行

強さと優しさを

校長　小髙　剛

木々の緑はより一層濃く生い茂り、夏を感じる景色となりました。
昨日の体育祭では、生徒たちの力強さと、一つの目標に向けて仲間と協働する姿などが見られました。ＰＴＡやボランティアの皆さまにはスポーツドリンクの配付や警備員の配置、用具の片付けなど多大な御協力をいただきました。生徒たちの頑張りと保護者の皆さまの応援により、すばらしい体育祭となりました。ありがとうございます。

さて、先日、ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の逝去が報じられました。「世界一貧しい大統領」といえば、御存知の方も多いでしょう。ムヒカ氏は収入の大部分を財団に寄付し、公邸ではなく小さな農場に住み、月1,000ドルほどで質素な生活を続けていました。穏やかな笑顔が印象的でしたが、かつては革命を目指す中でゲリラ活動に従事したり、襲撃や誘拐に関与したり、逮捕と脱獄を繰り返したりといった経験があったそうです。
そのムヒカ氏は５年前、政界引退表明の演説で後進の若者たちへのメッセージとして、「人生の成功とは、勝つことではなく、倒れる度に立ち上がり、また進むことだ。」と述べました。これはムヒカ氏がかねてから述べていたことで、２０１６年に来日した際にも、「人生で最も重要なことは歩き続けること。すなわち、転ぶ度に起き上がり、また新たに何かを始める勇気をもつ。何かに打ち負かされたときに、また立ち上がる。」と述べています。
確かに、人生には思うようにいかないことの方が多く、努力してもなかなか目標に辿り着けないこともあります。そんなとき、自分はダメなんだ、無理なんだと考え、努力もせずに諦めていたらいつまで経っても上手くいくようにはならないし、目標に辿り着くこともできません。上手くいかない理由はきっとあります。その理由を探り、克服し、ときに新たな手段に取り組むことが、自分を更に成長させます。それは、自分自身との闘いとも言えます。

ところで、先日、地域の高齢の方よりお電話を頂戴しました。その方が自転車で転倒した際、本校の生徒たちが声をかけ、ある生徒はその方の手を引き、別の生徒はその方の自転車を押し、御自宅まで送ってくれたとのことで、感謝の意をお伝えくださいました。そのお電話の後、その方のお嬢さまからも御連絡があり、同様に感謝のお言葉を頂戴しました。
中学生にとって、見知らぬ人に声をかけたり手伝ったりするのは勇気がいることだったかもしれません。或いは、自然と行動したのでしょうか。いずれにしても、困っている方に手を差し延べた生徒たちに心が温かくなるとともに、生徒たちを誇りに思います。

転んでも立ち上がり歩み続ける粘り強さと、困っている人や立場の弱い人に手を差し延べることのできる優しさ。どちらも社会の一員として生きていくために身に付けてほしい大切な要素です。生徒たちには、社会的自立の基礎を築くとともに、未来の自分に誇れる中学校生活を送ってほしいと改めて願っています。